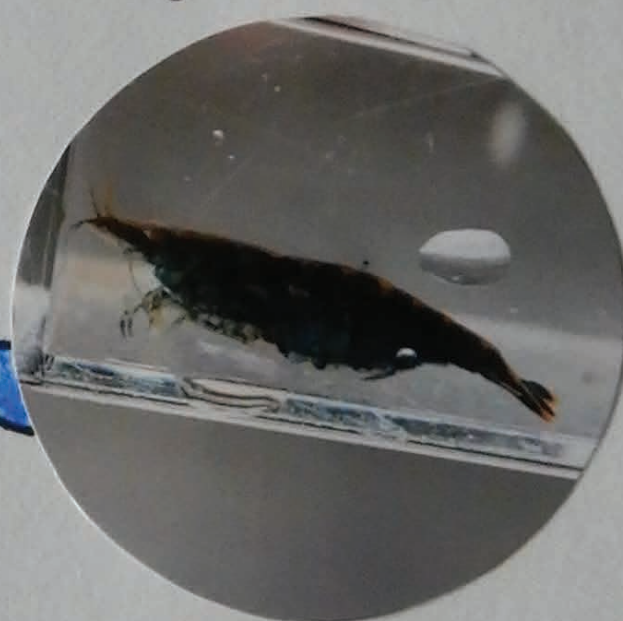


笠原川

～ガサガサ探険～ MAP



土岐川



笠原川



脇之島小学校
4年1組1番 青木 すみれ

◎なぜ笠原川MAPを作ったのか？

私は、土岐川観覧食官のイベントで、ガサガサ探検にたくさんさん加してきました。

同じ笠原川で場所によって住んでいる生き物が変わるのか、知りたくなりました。

土岐川観覧食官の山本食官長さんにおすすめの場所を4つ教えてもらって調べてマップを作りました。

◎どんなふうにマップを作ったのか？

笠原川の4つのポイントでガサガサを2回ずつ行うタモを使って魚、水生こん虫をつかまえる。

虫や鳥、植物を観察する。

つかまえた生き物を1匹ずつ写真をとる。

その後、名前や特ちょうを言調べて場所ごとにまとめる。

◎使用した物

1. タモアミ

4. カメラ

2. バケツ

5. 長そで長ズボン

3. 小さい入れ物

6. さつえいの時使う白い板



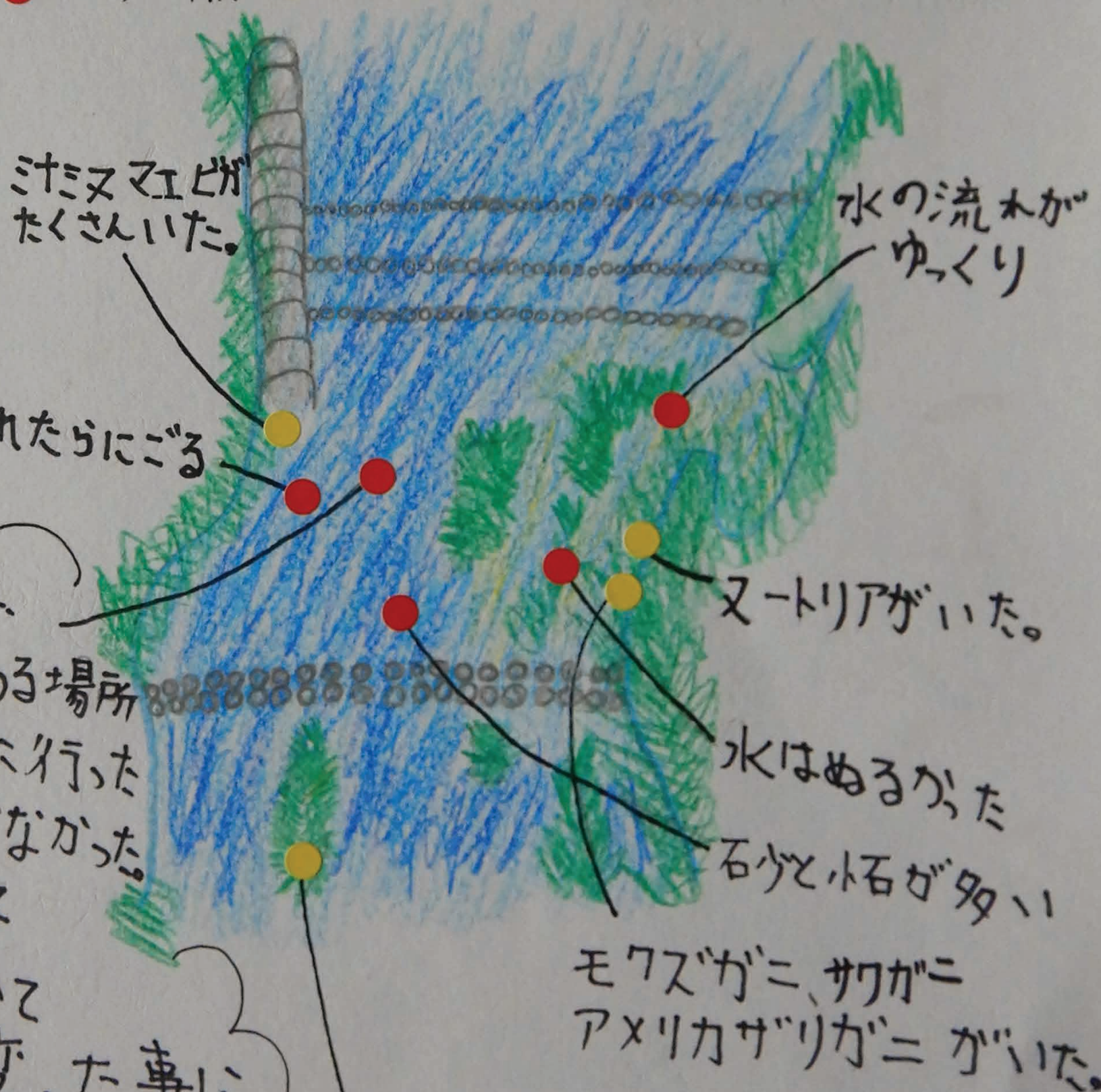
①多治見市昭和町付近(笠原川の河口 土岐川との合流地帯)

何回目	調査日	時間	天気	気温
1回目	7月25日(月)	14時	晴れ 	36℃
2回目	8月21日(日)	13時	晴れ 	31.9℃



この場所は昭和40年~平成5年に工事をしています。

● このマークは川の水質 ● このマークは生き物について



※ 注目

調査日1回目の時は、わたしの肩まで水位がある場所があったけど、2回目に行った時は、その場所がなかった。2日前に大雨が降って、石がじゃりが重くて川のそこの形が変わった事に気付いた。



↑この魚はオイカワ

水がきれいで目の前をたくさんの魚が泳いでいるのが見えました。動きが速くてつかまえられなくてくやしかったです。

アオサキ
チュウダイサキが
いた。



ハゼのなま



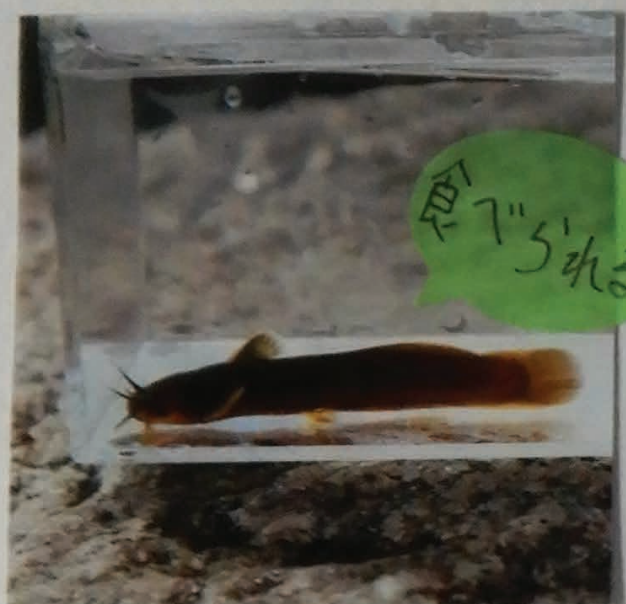
カワヨシノボリ ♂

- ・ハゼ科
- ・体長-5cm ~ 10cm
- ・住んでいる所-流れのゆるやかな河川、底石などにくっついている。
- ・エサ- ら食
- ・とくちょう
- 春から夏はメスがさんらんしてオスがたまごを守る
- ・オス・メスの見分け方
- オス- 前と後のせびれの形がちがう
- メス- 前と後のせびれの形が同じ

♀



ナマズのなかま



アカザ

絶めつきぐ種Ⅱ類

- ・アカザ科
- ・体長-11cm
- ・住んでいる所- 底石のすき間 などにくっついて、夜になると活動する。
- ・エサ- 水生昆虫
- ・とくちょう
- 多治見では、赤い色をしていて、はちのようにさすことから アカバチ、庭に
いるからネバチとよばれている。口の上アゴと下アゴに
合計8本のヒゲがある。ヒゲのトゲにはどくえきを持っているので
さされるとかなりいたいので十分注意する。

ドジョウのなかま

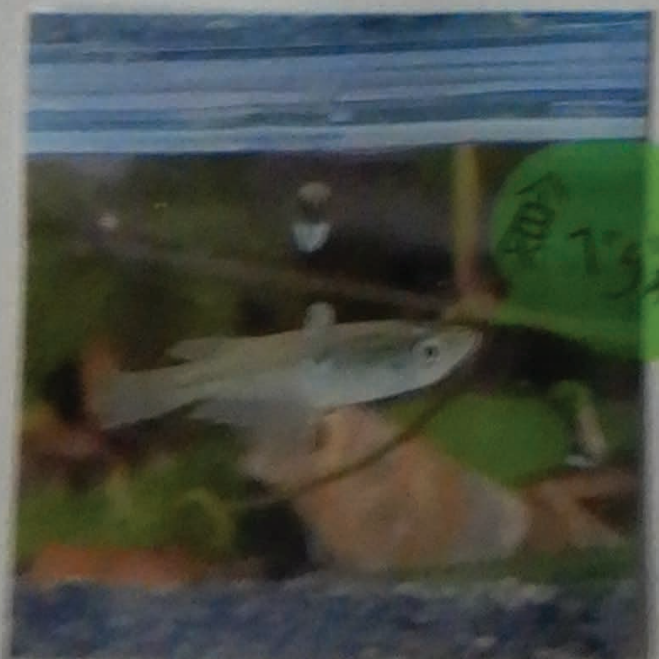


ドジョウ

絶めつきぐ種

- ・ドジョウ科
- ・体長-やく15cm
- ・住んでいる場所- 水田、川、用水路、池のどろのそこなど
- ・とくちょう
- 体は細長く体をくねらせて泳ぐ、口のまわりにひげが
ありひげでふれることで味を覚えることができる？
エラだけでなく、ちょうでもこきゅうできる。

メダカのなかま



メダカ

絶めつきぐ種

- ・メダカ科
- ・体長-やく3cm
- ・住んでいる場所- 小川、池、水田、用水路
- ・とくちょう
- 身近にいてとても有名な魚。やく550品種が
放にんされている。

コいのなかま



アブラハヤ

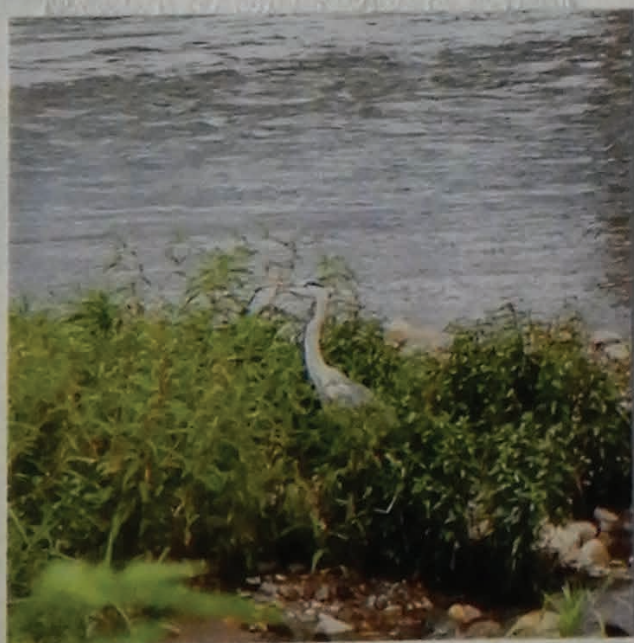
- ・コイ科
- ・体長 - 12cm
- ・住んでいる所 - 川の上流、石少れていや川岸の下
- ・エサ - ざ食
- ・とくちょう
オイカワなどにくらべてウロコがヌルヌルしていることからその名前が付けられた。体に黒い帯がある。

カワムツ



- ・コイ科
- ・体長 - 45mm
- ・住んでいる所 - 岩のあいだや水面にはりだした植物の下などに、かくれる。
- ・エサ - ざ食
- ・とくちょう
オイカワとの見分け方は①顔が丸い②体そくにたてに黒い帯がある③ウロコがはっきりしている④おなかが出ていて少し太めに見える。

水鳥のなかま



アオサギ

- ・サギ科
- ・体長 - 84 ~ 100cm、つばさ 1.6m ~ 2m
- ・住んでいる所 - 河川、ぬま、海、のう地
- ・エサ - 動物食、魚や両生類、はちゅうるい、こうかくるい
- ・とくちょう
サギの仲間としては最大です。とんでいる時は首をZ字に曲げる羽木長のがわかしちがドジョウすくいみたいで"おもしろい"



チュウダイサギ

- ・サギ科
- ・体長 - 80cm ~ 100cm、つばさ 1.3 ~ 1.7m
- ・住んでいる所 - 水田や川(冬は南へ行く)
- ・エサ - 肉食
- ・とくちょう
チュウダイサギはダイサギより小さくて足が黒いわたりどりですが写真のチュウダイサギは、ケガをしているので数年多治見に住んでいる。



トンボ
エゾトンボのながま



ダビドサナエのよう虫(ヤゴ)

・サナエトンボ科

・とくちょう

岸に近い石の下や砂にあぐもぐって生活している。

オナガサナエのよう虫(ヤゴ)

・サナエトンボ科

・体長 - 27~30mm

・住んでいる場所 - 流れの早い石の下やそのまわりの
すなや小石にもぐっている。

・エサ - 肉食、共食いもする

・とくちょう

ガッシリとした体つきで、角がしゃもじのような形
になっている。



コヤマトンボのよう虫(ヤゴ)

・体長 - 26~31mm

・エサ - 肉食、共食いもします

・とくちょう

大がたヤゴで、あしが長くゆっくりはって、どうし
クモのように見える。

ウチワのように平らで丸い。



ヤンマ
オニヤンマのながま



コシボソヤンマのよう虫(ヤゴ)

・ヤンマ科

・体長 40~44mm

・とくちょう

川岸の植物や川ぞいの葉っぱや石につかまって
生活している。

カワトンボ
イトトンボのなかま



ハグロトンボのよう虫(ヤゴ)

- ・カワトンボ科
- ・体長 - 22 ~ 27 mm
- ・住んでいる所 - 河川
- ・エサ - 肉食
- ・とくちょう
はらの先にもまの長いえらがある
長いしゃく、角と、あし、しっぽのマダラもようが
とくちょう

トビケラのなかま



ヒゲナガカワトビケラのよう虫

- ・ヒゲナガカワトビケラ科
- ・体長 30 ~ 40 mm
- ・住んでいる所 - きれいな河川
- ・エサ - 落葉や、コウ
- ・とくちょう
虫はイモムシみたいな形、成虫はガのようです。
石や石の落葉などで巣を作る。巣は持ち運べるタイプと、できないタイプがある。巣はとても美しい

アメンボ、タイコウチ
タガメのなかま



オオアメンボ

- ・アメンボ科
- ・体長 - 17 ~ 27 mm
- ・住んでいる戸所 - 流れのゆるやかな池や河川に生息
- ・エサ - 水面に落下した昆虫
- ・とくちょう
日本最大のアメンボです。体が大きいだけでなく足も、翼が長くスマートです。ほかのアメンボに比べて1体長がとても大きい

トンボ
エゾトンボのなかま



シオカラトンボ

- ・トンボ亜科
- ・体長 - 49 ~ 60 mm
- ・住んでいる戸所 - 山地 ~ 住たく地までさまざま
- ・エサ - 昆虫
- ・とくちょう
成じゅうしたオスがシオカラトンボで水色
成じゅうしたメスはムサウラトンボで茶色

カニ エビ"のなかま



ミナヌマエヒ

- ・ヌマエヒ科
- ・体長-2~3cm
- ・住んでいる所-河川の流れがゆるやかな所
水路や沼
- ・エサ-ざ食
- ・とくちょう
体色は半とうめい、メスはおなかに たまごがある
黒色になる。



モクズガニ

- ・イワガニ科
- ・体長-7~8cm
- ・住んでいる所-川
- ・エサ-ざ食
- ・とくちょう
カニとしては大がたで"ハサミの部分にこい毛が生えて
いる。海で生まれ、川まで上ってたら皮をくり返し
成長して、また海に下りさんらんする。食べるとおいしい



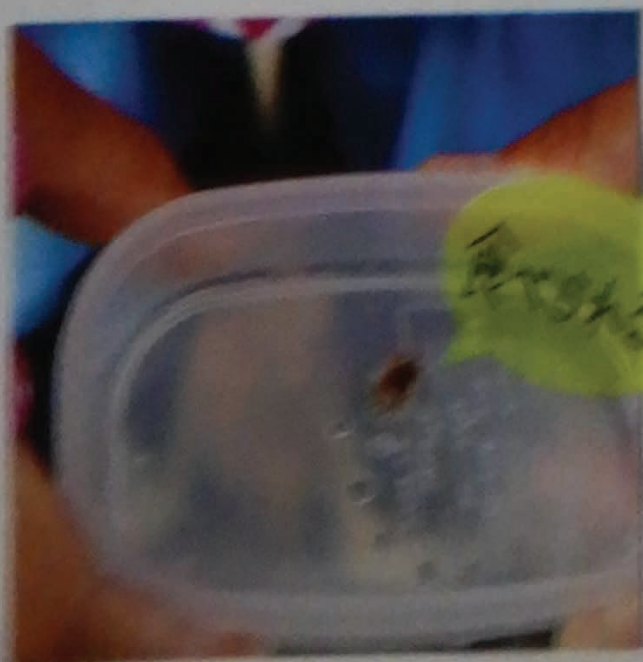
アメリカザリガニ

- ・アメリカザリガニ科
- ・体長-やく 12cm
- ・住んでいる所-沼、池、水田、川
- ・エサ-子魚や水草など、なんでも食べる
- ・とくちょう
子どもは茶色で小さめ、ニホンザリガニ と に て い る
大人になるにつれて赤色になる

2020年から特定外来生物に指定された。

サワガニ

本当はこの土場所にはサワガニが
いないけど、大雨で流されてきた。



ほしにゅうま類のなかま



イメージ写真

コウモリの仲間

・小がたほしにゅうま類の仲間(鳥の仲間ではない)

・とくちょう

日本では昔から家を守る「ヤモリ」、井戸を守る「イモリ」、川を守る「かはもり」→「コウモリ」と伝えられている。

多治見では2016年時点では6しゅ類いる。



イメージ写真

ヌートリア

特定外来生物

・ヌートリア科

・体長40~60cm

・住んでいる所-川の土手や水面に巣を作る

・エサ-草食

・とくちょう

ネズミでカビパラににている。単独で毛皮をさい取する目的でゆえに野生化した。はんしよく力はひじょうに強く食よくがおうせい。

カイ、ハマグリなどのなかま



食べているよ

マシジミ

・シジミ科

・体長-やく35mm

・住んでいる所-河川

・エサ- びん生物やプランクトン

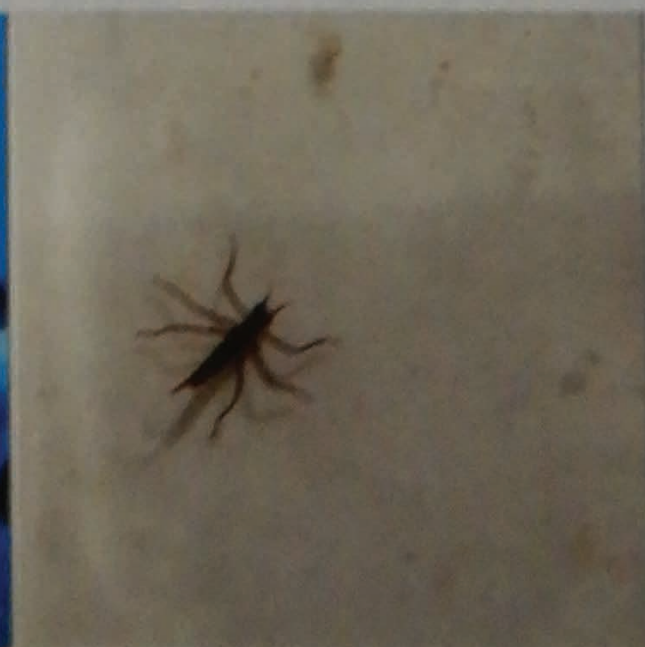
・とくちょう

日本に生息しているシジミはヤマトシジミ、セタシジミ

マシジミの3種です。化学ひん料や農薬のえいきょう

河川かいしゅう、農地 整びのかんきょう 変化で姿を消している。

不明です



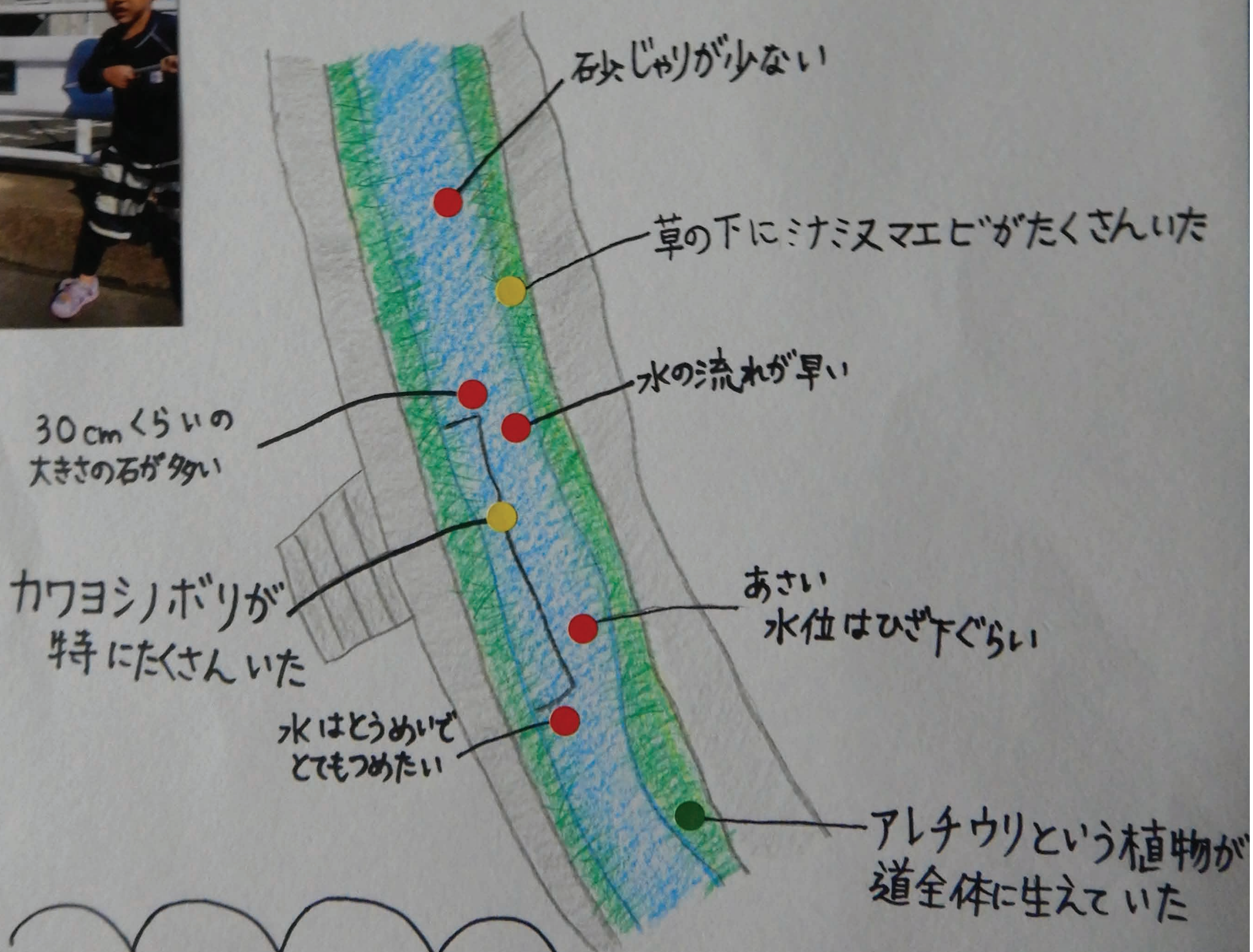
②多治見市京町付近

何回目	調査日	時間	天気	気温
1回目	7月31日(日)	14時半	晴れ☀	36.6℃
2回目	8月20日(土)	8時半	くもり☁	31.1℃



この場所では昭和40年～平成5年に川のエ事をしていました。

●このマークは川の様子 ●このマークは、生き物について ●このマークは植物について



※注目

4つの川の中で1番整備されていました。
流れが早くて10cmの石を川に落してみたら、ゴロゴロと下流に流れていきました。

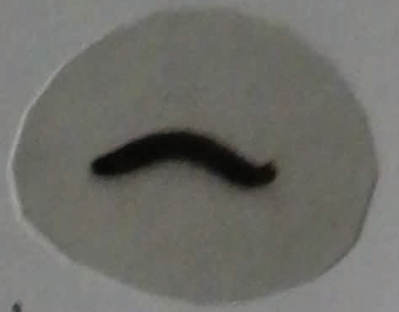


ガガンボのなかま



ガガンボの仲間

- ・ガガンボ科
- ・体長 - 3~4cm
- ・住んでいる所 - 水の中に いるものと 土の中に いるものと
さまざま
- ・エサ - 草むらや植物の根
- ・とくちょう
よう虫は足がなくて前後がわかりにくい
つじょうのこきゅうきがういているちがう



カメムシのなかま



臭いするよ

カメムシの仲間

- ・カメムシ科
 - ・エサ - 草食
- アレチウリで交配をしている。

※1度説明した生き物は

2回目から写真のみはりました。

ハゼのなかま



カワヨシノボリのたまご



カワヨシノボリ

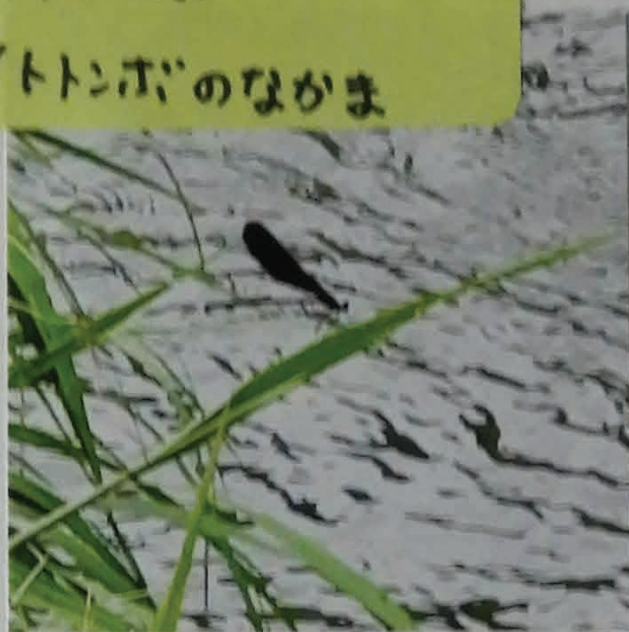
コいのなかま



アブラハヤ

カワトンボ

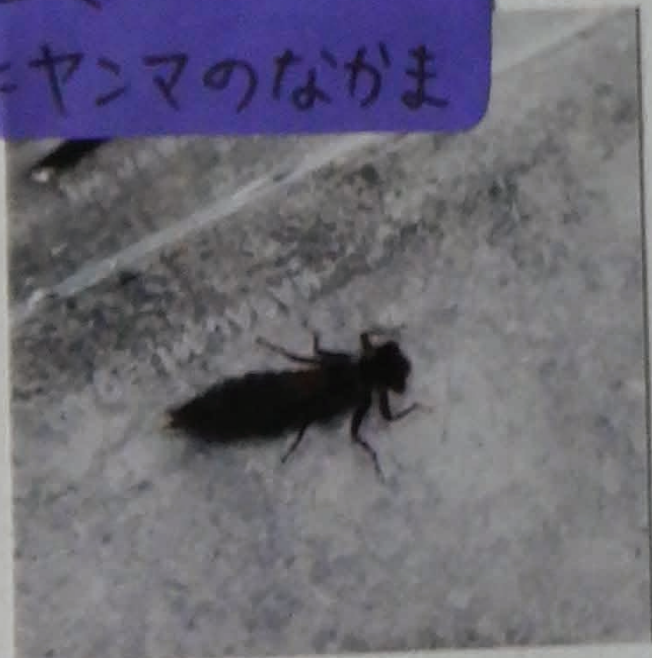
イトトンボのなかま



ハグロトンボ

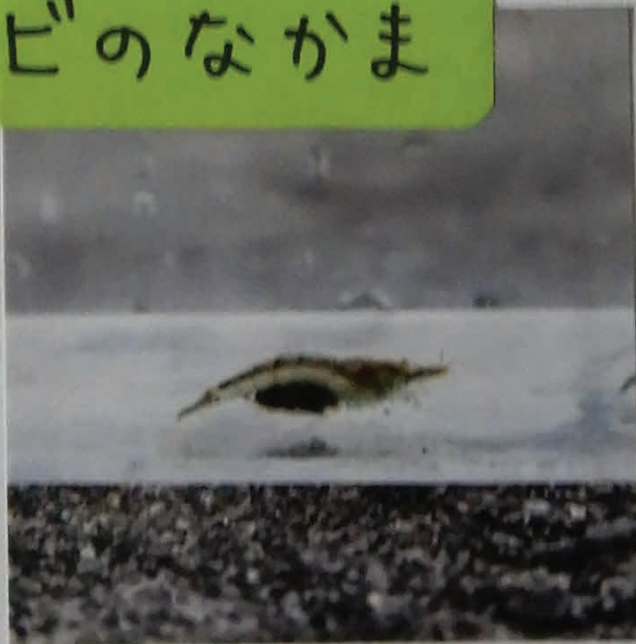
ヤンマ

オニヤンマのなかま



コシボソヤンマ(ヤゴ)

エビのなかま



ミナミヌマエビ

水鳥のなかま



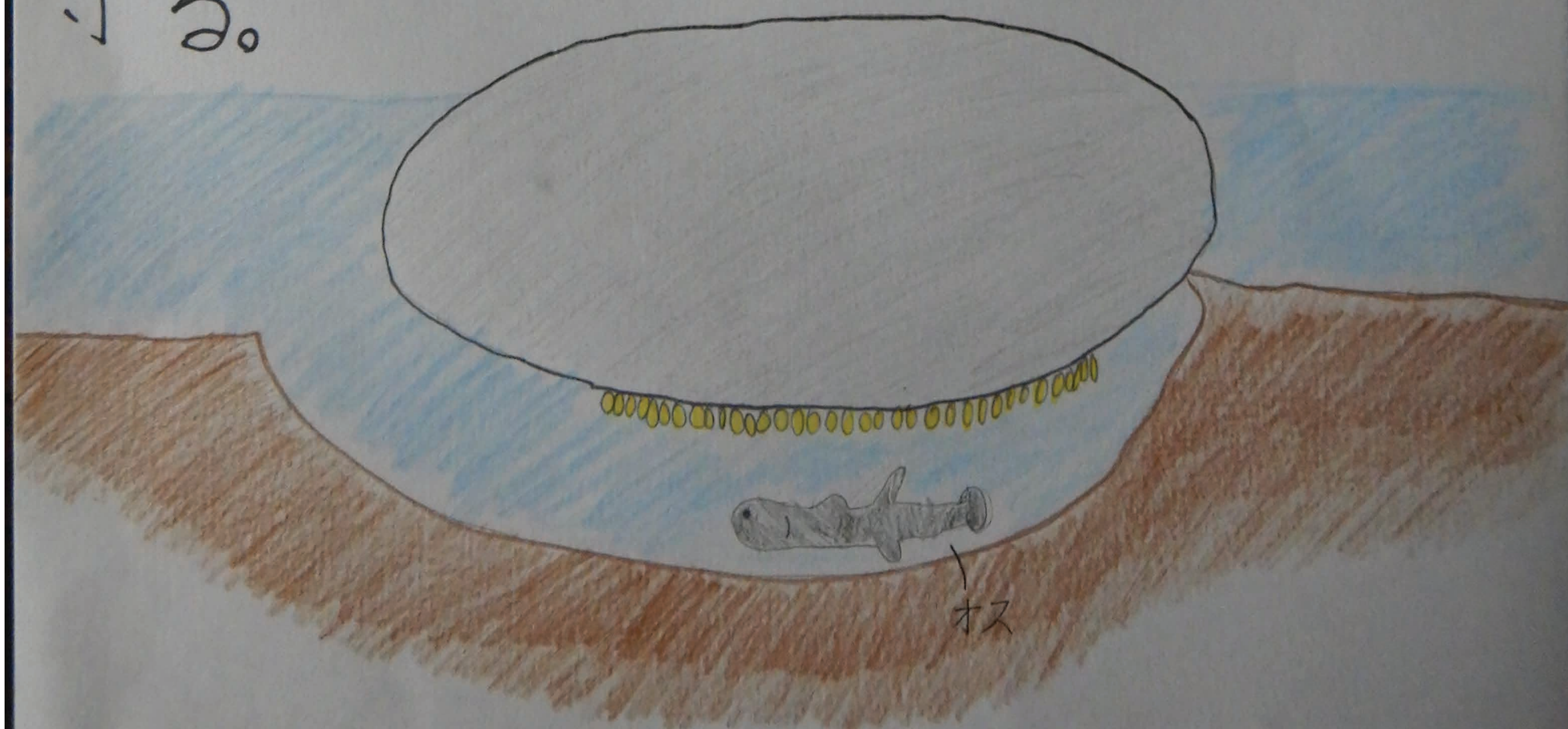
チュウダイサギ

カワヨシノボリのたまご について補足

①なわばりをつくり石の下にあなをほる。石少や石は口で一つつはこい。

②ほったあなの石の下にメスがひっくりかえってたまごをうむ。

③たまごをうんだらメスはどこかへいく。オスはたまごのせわをしたりする。



③多治見市大洞町付近

何回目	調査日	時間	天気	気温
1回目	8月2日(火)	17時	晴れ☀️	37.9℃
2回目	8月20日(土)	10時半	くもり☁️	31.1℃

この場所は平成14年～平成28年に川のエ事をしています。

●このマークは川の様子 ●このマークは生き物について



ナガコガネグモがいた

流れが早い

流れがゆるやかあさい

どじょうがいた
カワヨシボリがたくさんいた



※注目

大洞川と笠原川の合流地点
大洞川はどろがすごく多い
ハグロトンボがやく15匹いた2匹ずつペアでいた。
笠原川とは全く様子がちがう

2回目に行った時オニヤンマがさんらんしている姿を見ました



トンボ
エゾトンボのなかま



オジロサナエのよう虫 (ヤゴ)

- ・サナエトンボ科
 - ・体長 17 ~ 21 mm
 - ・住んでいる場所 - 川の上流
 - ・エサ - 肉食
 - ・とくちょう
- よう虫は 流されて中下流で見られる
岸に近い石に あさくもぐっている。

ムカシトンボ
サナエトンボのなかま



コオニヤンマのよう虫 (ヤゴ)

- ・サナエトンボ科
 - ・体長 - 30 ~ 35 mm
 - ・住んでいる場所 - 石の下や川の流が早い植物の根ぎわにいる。
 - ・エサ - 肉食、共食い
 - ・とくちょう
- 体はひらたく、かれ葉のまねをしている。

カワトンボ
イトトンボのなかま



マユタテアカネ

- ・トンボ科
 - ・体長 3 ~ 4 cm
 - ・とくちょう
- おでこの上に まゆを立てているように見える点が2つ
あるので名前がつけられた。
メスは 体が茶色で 羽の根の先が黒いオスとメスに
まるで別のトンボみたい。

アジアイイトトンボ

- ・イトトンボ科
 - ・体長 - やく 3 cm
 - ・とくちょう
- オスは、ふく部が黄緑で、ふく部第9節が青色
メスはふく部がくらい緑色です。
- 多シ台見ではふ通に見れるトンボ



スズメガのなま



食べられるよ

セスジスズメのよう虫

- ・スズメガ科
- ・体長 - やく8cm
- ・とくちょう

体は黒く黄色と赤色のもようがは手で目立っている

ハナムグリのなま



食べられるよ

コアオハナムグリ

- ・コガネムシ科
- ・体長 - 10~15mm
- ・とくちょう

体のせ中は緑色で白い点々がはいっている

日本ではよく見られるコガネムシ

ゲンゴロウガムシのなま



コシマゲンゴロウ

- ・ゲンゴロウ科
- ・体長 9~11mm
- ・とくちょう

黒色の体に黄色のたてのすじがある。

クモのなま



ナガコガネグモ

- ・コガネグモ科
- ・体長 - 18~25mm
- ・とくちょう

せなは黄色で白い毛がある。おなかは、だ円形で前は平らで後少しとがっている。長い足は、とげがまばらにある。

ハゼのなかま



カワヨシノボリ

ヤンマ
オニヤンマのなかま



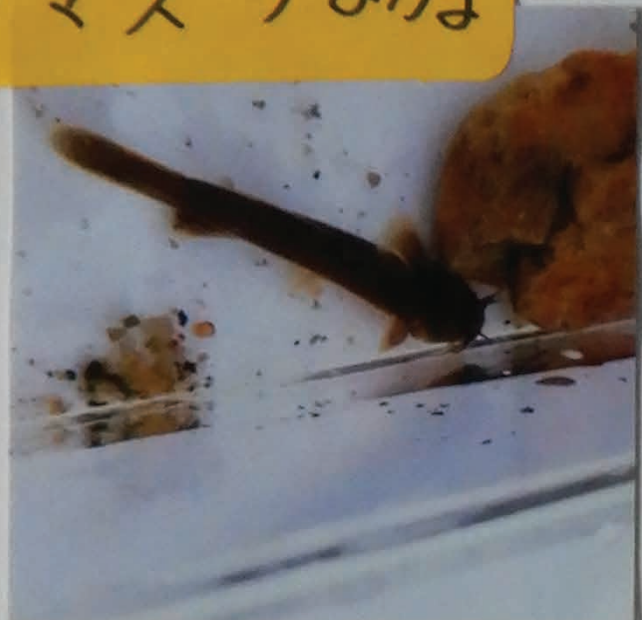
コシボソヤンマ(ヤゴ)

エビのなかま



ミナミヌマエビ

ナマズのなかま



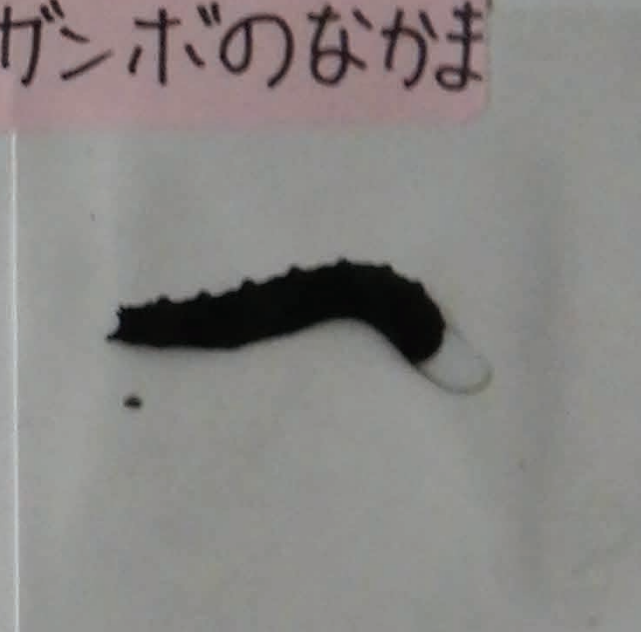
アカザ

トビケラのなかま



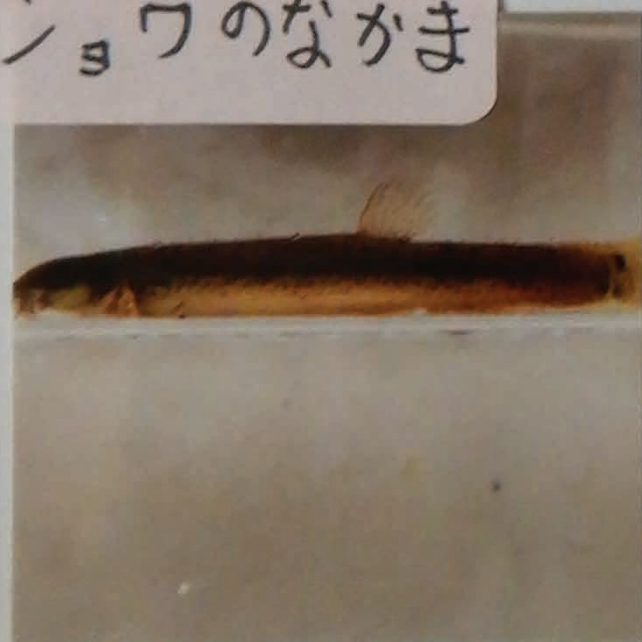
ヒゲナガカワトビケラ

ガガンボのなかま



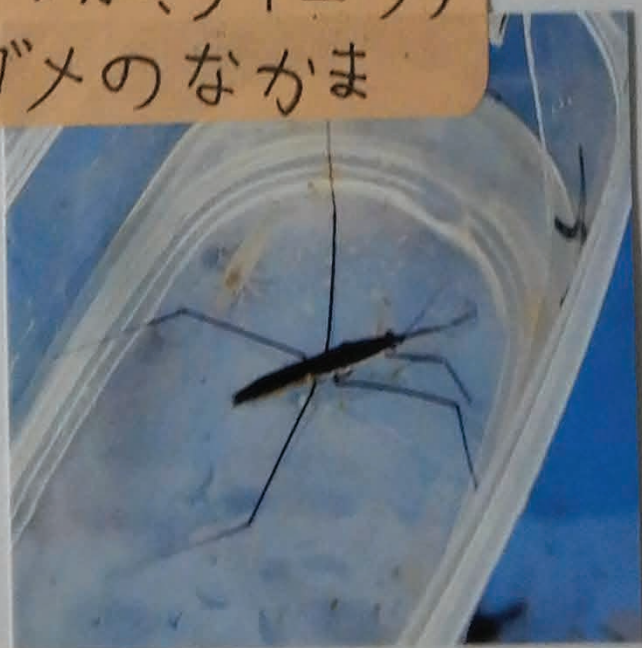
ガガンボの仲間

ドジョウのなかま



ドジョウ

アメンボ、タイコウチ
タガメのなかま



オオアメンボ

トンボ
エゾトンボのなかま



オナガサナエ

トンボ
エゾトンボのなかま



シオカラトンボ

※参考画像ネットから

④多治見市たきろ町付近

何回目	調査日	時間	天気	気温
1回目	8月6日(土)	13時半	晴れ☀	30.5℃
2回目	8月20日(土)	13時	くもり☁	31.1℃

この土場戸所のエ事は昭和40年より前なので不明。

●このマークは川の様子 ●このマークは生き物について



水位はひざ下でした

ここにもヤゴが
たくさんいた



サワガニがいた



石がタガイ

4つの川の中で1番水が
つめたい

15cmぐらいの石がタガイ

水の流が早くて
4つの川の中で1番

水がとうめい

石の下や植物の
根ぎわに
コオニヤンマ
コヤマトンボのヤゴが
いた。

川の横は家が並んで建っています

※注目①

1番上流で水がきれいだから
ここで初めてサワガニがとれました

※注目②

巨大なヤゴ発見!サイズはやく4cm
この場所は大きなヤゴがたくさんいました

コイのなかま



カマツカ

- コイ科
- 体長 20cm
- 住んでいる所 - 流れのゆるやかな 砂そこ
- エサ - ざ食
- とくちょう
 - 口に一丈寸のヒゲがある。上から見ると黄土色のせみみに黒く太いシマがある。頭が太く、口が下向きについていて、そのエサが食べやすい。

カワトンボ イトトンボのなかま



ニホンカワトンボのよう虫(ヤゴ)

- カワトンボ科
- 体長 21~24mm
- 住んでいる所 - 流れのゆるやかな 河川
- エサ - 肉食、共食いもする
- とくちょう
 - アサヒナカワトンボのヤゴにとともにている。
 - オスは、とう月のハネのみたが
 - メスは、おうど色とむ色ハネの2タイプがいる。

カニ エビのなかま



サワガニ

- サワガニ 科
- 体長 - 2~3cm
- 住んでいる所 - 川の上流
- とくちょう
 - 一生たん水いきで過ごす。日中は、石の下にいて、夜になると重かきたす。

ミミズ

- とくちょう
 - 目がなく、手足もないひもみたいです。
 - 名前は「目見えず」という言葉が→メメズになり→ミミズになったとも言われている。



ハゼのなかま



カワヨシノボリ

ムカシトンボ
サナエトンボのなかま



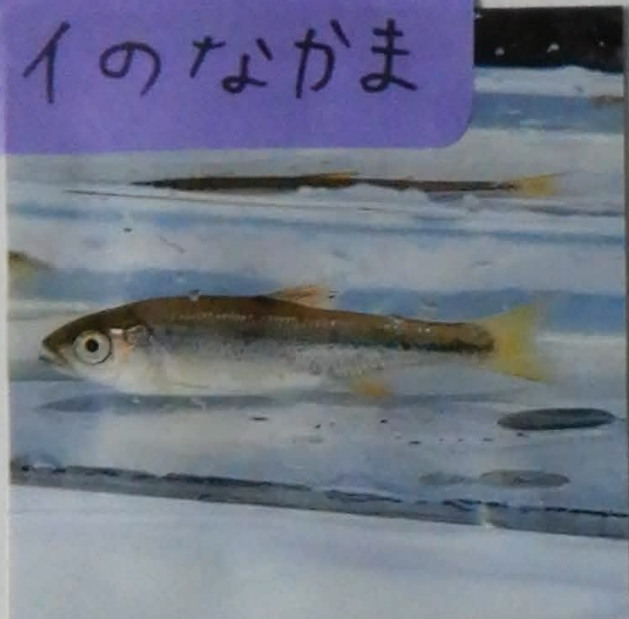
コオニヤンマ(ヤゴ)

ゲンゴロウ
ガムシのなかま



コシマゲンゴロウ

コイのなかま



カワムツ

ヤンマ
オニヤンマのなかま



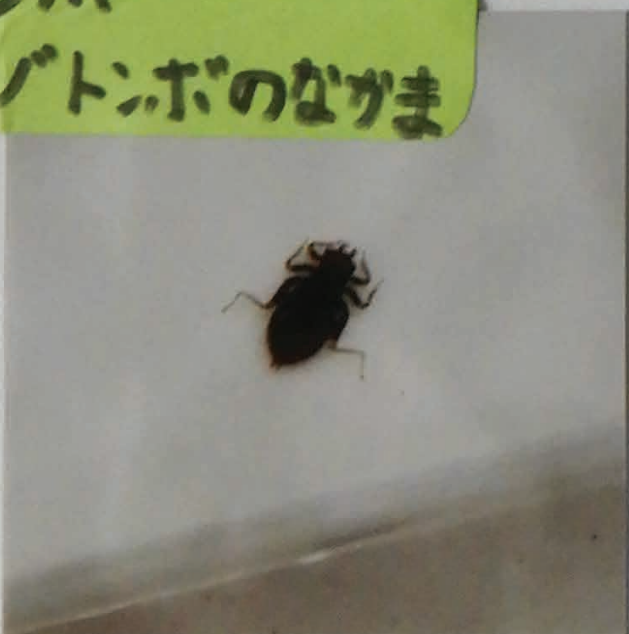
コシボソヤンマ(ヤゴ)

カワトンボ
イトトンボのなかま



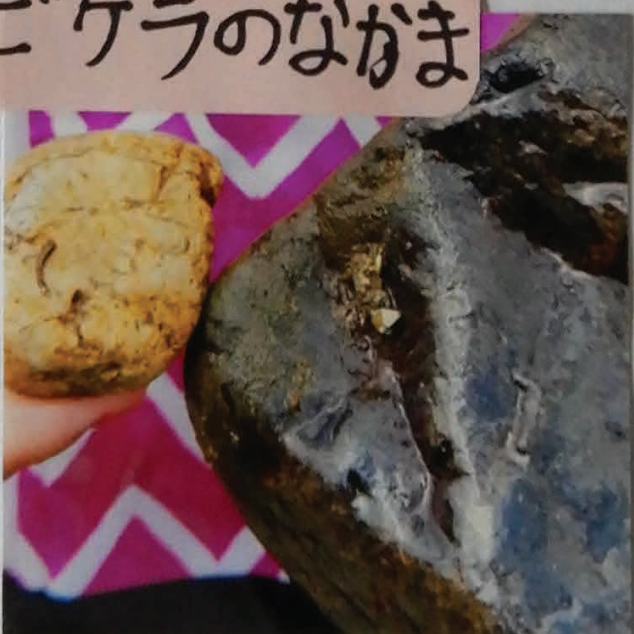
ハグロトンボ

トンボ
エンゴトンボのなかま



ダビッドサナエ(ヤゴ)

トビケラのなかま



ヒゲナガカワトビケラ

エビのなかま



ミナミヌマエビ



コヤマトンボ(ヤゴ)

アメンボ、タイコウチ
タガメのなかま



オオアメンボ

ガガンボのなかま



ガガンボのなかま



● やく48.5km

モクズガニについて補足

このカニは海から来たとか教えてもらいました。
でも岐阜県には海がないので、不思議に思い言調べました。
カニの歩いてきたきょりは、愛知県の河ロから笠原川まで
やく48.5kmでした。

すごい!とおどろきました。

カニの歩くスピードは、おそいし道は真、直ぐではないから
がんばって多治見まで来てくれたと思うと感動しました。

いつか愛知県の河ロから庄内川～笠原川まで
歩いてみたいで"す。



まとめ



上流と下流で住んでいる生物がちがっている
ことを発見できました。うれしかったです。

特に川のきれいな所にしかない
サワガニをみつけた時は感動でした。

季節や雨でも川の本葉子がどんどん変わることも
分かりました。

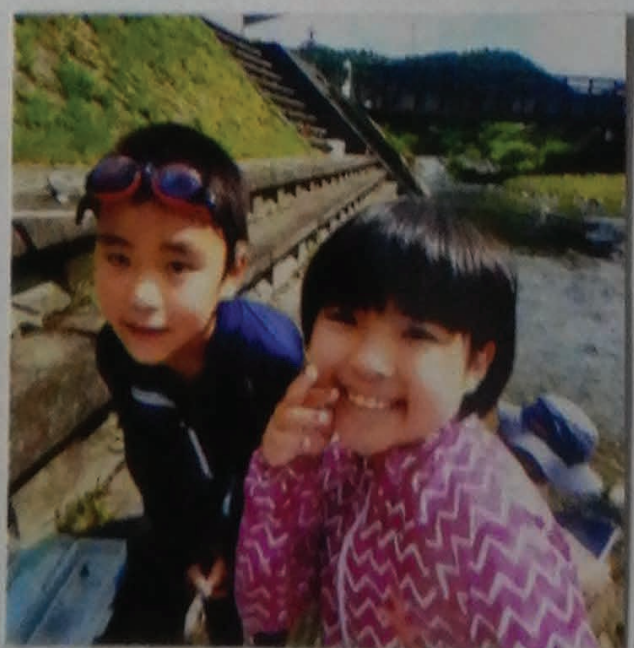
7月25日に調査した時には見れなかった

トンボのさんらんが8月21日にはたくさん見れました。

私はもっと魚、水生こん虫、鳥、虫などが
大女子になりました。

次は、笠原川のもっと上流を調査したいです。

(表紙のちぎり絵は、ながま分けしたおり紙を使い
同じ川でたくさんの生き物がいっしょにくらしている様子を
表現しました。)



生物の数を数えました

(数えた生物だけ書きました)

② 多治見市京町付近

- ・カワヨシノボリ 33匹
- ・コシボソヤンマのヤゴ 1匹
- ・ガガンボの仲間 1匹
- ・アブラハヤ 2匹
- ・ミナミヌマエビ 6匹

③ 多治見市大久保町付近

- ・カワヨシノボリ 90匹
- ・コシボソヤンマのヤゴ 5匹
- ・どじょう 1匹
- ・オナガサナエのヤゴ 7匹

④ 多治見市たきろ町付近

- ・コオニヤンマのヤゴ 3匹
- ・コシボソヤンマのヤゴ 11匹
- ・サワガニ 3匹
- ・コヤマトンボのヤゴ 3匹

◎ 生き物の名前や特ちょうを教えてくださいました。

土岐川観察館 山本真行さん、富田増男さん

多治見昆虫会 荒木裕之さん、横井洋文さん

多治見植物の会 深谷滋浩さん

◎ 川についてしつ問しました。

多治見市役所一道路各河川言果

多治見総合庁舎一河川砂防言果

土岐川出張所

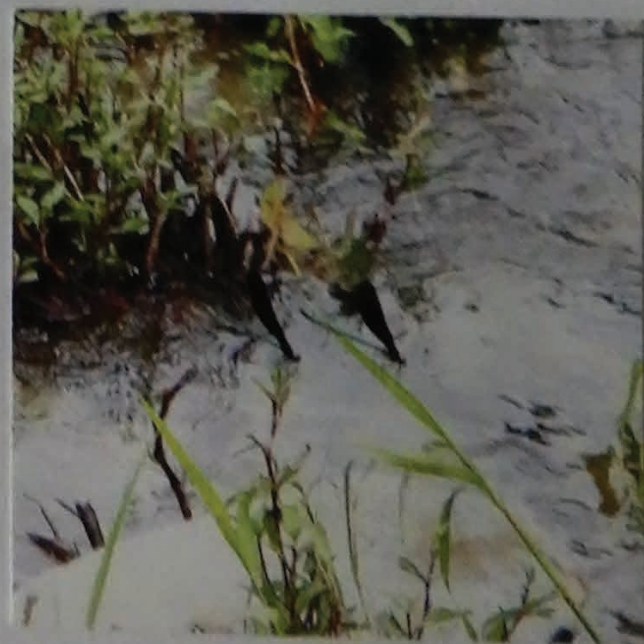
◎ 参考文献

たじみの自然2021 book

小学館の図鑑NEO 水の生物

講談社の動く図鑑MOVIE 魚

講談社の動く図鑑MOVIE 昆虫



ありがとうございました